



令和2年9月23日

蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校
文責：校長 柿林 浩彦

第15号

NIEを推進しています

NIE（エヌ・アイ・イー）とは「Newspaper in Education」の略で、新聞を学校や家庭などで学習に活用する活動です。アメリカで始まり、世界60カ国以上で取り入れられており、日本では1985年に静岡で開かれた新聞大会で提唱されて広まり、現在は全国の多くの学校で実践されています。

NIEの学習効果として、全国学力・学習状況調査では「新聞などのニュースに関心のある子どもは正答率が高い」という結果が出ており、また、その問題自体に新聞記事が使われています。そして、OECD（経済協力開発機構）が行っているPISAという世界的な学習到達度調査においても、「NIEの盛んなフィンランドや韓国などの子どもたちの読解力が優れている」という結果も出ています。

では、なぜNIEに学習効果があるかということ、新聞の特徴にあるそうです。新聞には「解説性、地域性、国際性、分析性、記録性、信頼性…」など多くの特徴があり、これらから次のような効果が考えられています。

①新たな学びのきっかけづくり

記事は「見出し→リード文→本文・資料」の「逆三角形」の構造で書かれていますので、見出しを見ただけで記事のおよその内容やニュースの大小・重要度などを知ることができ、興味・関心を引き出します。

②社会を学ぶ窓口

新聞から「授業で学習していることは、自分の身近な社会で実際に起きているんだ」「自分と世界はつながっているんだ」ということに気付きます。

③活用型読解力の向上

記事には「5W1H」が的確に表現されているので、最低限必要な情報を整理したり、人に伝えたりするためのよい教材となります。コラムや4コマ漫画は「起承転結」の構造をしていて、人を引きつける魅力的な文章を書く参考になります。ですから、新聞を活用することで、言葉に敏感になり、文章を吟味しながら日常の中で生きて働く言語力を身に付けることができます。



Newspaper in Education

教育に新聞を

5W1Hとは何？

いつ	When
どこで	Where
だれが	Who
何を	What
なぜ	Why
どのように	How

蒲刈中学校では【ワークシート通信】と【新聞スピーチ】の2つの取組を実施しています。

【ワークシート通信】として、読売新聞社の「読解力トレーニングプリント」を毎日家庭学習として配付し、翌日提出させ、教員がメッセージを記入・返却しています。新聞記事から情報を取り出したり、活用したりする力（読解力）の定着を目指しています。

【新聞スピーチ】では、原則毎朝、新聞記事を配付し、休憩時間等を活用して、帰りの会までにその要約と自分の意見を書いています。そして、帰りの会では、発表も行い表現力の定着を目指しています。

先週、西部教育事務所 山下学校経営相談員が来校され、授業の様子を見学され、次のようなことを述べられました。

「統合しても落ち着いて生徒が授業に取り組んでいて安心しました。また、教室に掲示されている新聞スピーチの取組には本当に感心しました。新聞スピーチの生徒の記述は、丁寧な字で書いていること、文末には『。(句点)』を必ず付けているなど指導の成果が見られます。そして、ずっと継続していることが蒲刈中学校の素晴らしい取組です。」と評価していただきました。これらの取組で、日々少しずつ確実に力を付けていますとも言われて、非常にうれしくなりました。

今後も「継続は力なり」をモットーにして取り組んでいきましょう。



小中合同防災訓練を行いました

9月17日（木）の午後、小中合同防災訓練を行いました。今回は、「授業中に震度5強の大地震が発生し、津波警報が発表された」という想定でした。

地震発生時は、机の下に身をかくし、安全が確認されてから、体育館に避難しました。当日は雨模様であったため、当初予定していた「であいの館」までの避難はできませんでしたが、全員真剣に行動することができました。

体育館では、向区長 谷村 浄 様に南海トラフ地震を想定した講話していただきました。様々な取組を通じて、「自分の命は自分で守る」ことができる知識と態度を身に付けていきたいと改めて感じています。

今後とも防災教育に関わる取組にご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



呉市で想定される南海トラフ巨大地震について

■南海トラフを震源とする巨大地震が発生した場合、津波が発生すると予想されています。

呉市では最大 震度6弱	第一波到達予想 2時間41分
最高津波水位 海拔3.6m	最大波到達予想 4時間
揺れの状況 ●揺れていることが長期になる ●津波が押し寄せ、建物や道路が崩壊する	津波影響開始時間 12分

※津波は、第一波が最大とは限りません。
※[津波影響開始時間]は、±20cmの水位変化が生じるまでの最短時間です。

※南海トラフの想定震源域等で観測可能な現象が観測された場合は、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されますので、この情報にもご注目ください。
「南海トラフ地震臨時情報」の詳細については、気象庁のホームページ等で確認できます。

